



〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-3-1-202
TEL:03-6222-2001 FAX:03-6222-2005

<http://www.jimh.or.jp/>



一般社団法人 日本物流システム機器協会

ご案内

会員サービス

- 資料サービス
 - ・協会広報誌の配布
 - ・報告書、統計資料等の配布
- 研究会への参加

物流システム機器業界が抱えるさまざまな課題をテーマとする部会・機種別委員会を発足させ、会員相互の情報交流を密にして問題解決の糸口を探ります。
- 本会主催の展示会の入場券無料配布

●入会の申し込みは随時受け付けております。

正会員（物流システム機器・周辺機器メーカー）：年会費 20万円※
賛助会員（本会の趣旨にご賛同の法人）：年会費 12万円※

※年度途中のご入会の場合はご相談ください。

ごあいさつ

物流のためのシステム・機器製造の分野は従来より、産業界に大きな役割を果たし、社会のインフラとして貢献してきたと自負しておりますものの、「物流システム機器」という存在は社会的にまだまだ認知度が低いと感じざるを得ません。

経済の活性化にともなって物流の重要性が増してゆくなか、その現場を支えている物流システム機器メーカーの社会的な存在感を高めていきたいとの思いで、08年7月に「日本物流システム機器協会」を発足いたしました。翌09年1月、一般社団法人として認定され、現在「一般社団法人 日本物流システム機器協会」の名のもと、あらたな活動を展開しております。

昨今の経済情勢はたいへんに厳しいものがあり、その中で当業界各社ともさまざまな努力を重ねておられます。こういう時にこそ小さいながらも業界が団結し、それぞれの技術を磨き、それぞれの営業・サービス態勢で互いに競い合いながら、国際的視野に立つ力強い発展を目指す業界にしていきたいと存じます。

当協会の設立趣旨・目標などをご理解いただき、皆様がたの積極的なご参画とご活用を心よりお願いいたします。



一般社団法人 日本物流システム機器協会
会長 竹内 克己

主な活動 Activity

セミナー 経営者セミナーを開催

協会主催の「経営者セミナー」を随時開催しています。外部からトップランナーの講師をお招きし、毎回100名以上の方々に参加いただいています。



会員交流 新年賀詞交歓会・特別講演会を開催

会員相互の親睦ならびに企業経営の参考にするため、新年賀詞交歓会や会員企業講師による特別講演会を開催しています。



国際交流 日中物流技術交流会を開催

中国機械工程学会との日中物流技術の交流を通じて、両国物流システム機器業界の発展と新たな市場開拓を目指すもので、2009年10月に第1回交流会を開催しました。



日中物流対話会議に参加

2010年6月に北京で開催された第1回日中物流対話会議に出席。当協会からは物流システム機器業界・市場についてのプレゼンテーションを実施しました。



機種別委員会 保管系・搬送系・情報系委員会を開催

機種ごとに分かれた委員会で、機種単位で抱えるさまざまな問題点・課題を抽出し、技術向上・標準化の指針を整備していきます。また全体会議では毎回外部から講師をお招きし、勉強会を実施しています。



ビジョン Vision

製造業・流通業の活動現場のいたるところで見られる「物の移動や管理」を効率化・自動化するのがマテリアルハンドリング(以下MH)です。近年ではMHとITを活用していかに系統的に工場や物流センターを運営していくかが企業経営の課題となっています。MHの市場規模は一兆円近く(保管設備、輸送機器、その周辺機器)もあり、その役割の割には世間一般の認知度が低いのが実情ですが、MHを包含するロジスティクスは企業経営そのものであり、SCMの中でもMHは重要な役割を担っています。こうした背景のもと、日本物流システム機器協会(以下JIMH)は行政との連携を深めつつMH業界のさらなる基盤強化と発展に努めていきます。またロジスティクスの現場に精通しているシステム機器メーカーや部品メーカーが力を合わせて生産性向上や効率化に貢献し、社会・産業界からのニーズに積極的に応えてまいります。

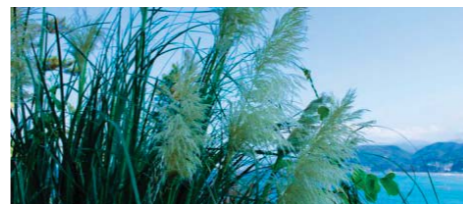
MHシステムのより一層のIT化推進

少子高齢化による労働人口減少や、市場ニーズに合わせた現場オペレーションの高度化・効率化など物流現場における労働環境は著しく変化している。JIMHは、人と機械の融合を考慮し、物流現場の作業負担低減にRF-IDをはじめとする自動認識やITの活用を推進し、労働人口の変化や市場ニーズの多様化にフレキシブルに対応できるシステムの供給に努めます。また最近急速に伸びているEコマース市場に対してもJIMHが会員向けサービスとして調査・検討していきたい。



環境負荷軽減を重視したMHシステムの促進

環境負荷の軽減や循環型社会の実現に向けてあらゆる産業界が努力しているが、MH業界においても環境に配慮した取組みが急務となっている。また行政が推進している物流センター、営業倉庫におけるCo2削減事業に呼応した省エネ設備の普及促進も大きなテーマとなっている。JIMHは、これまで蓄積したMH技術を活用しながら、環境を重視したシステムの提供やさまざまな新しいソリューションを提案していきたい。



グローバル化に向けての業界協調と国際標準化の推進

MHシステム普及のために全世界を視野にいれた活動を行ってまいります。当面は中国、インド、東アジア、アセアン諸国に向けたMH市場の創造と拡大のための協会活動に注力いたします。そのためには会員企業は勿論のこと、行政をはじめ、関連団体との連携、協調により、自由競争を大前提にしながらもお互いに切磋琢磨し、更なる技術革新と標準化を推進するとともに、アジアの国々はもとより広く世界各国との交流を深めていきたい。



組織図 Organization

